

専門性が輝くことばの教室

沼津市立第二小学校長 真野文雄

沼津市立第二小学校のことばの教室は昭和45年にスタートし、その後50年近く、市内各校の大勢の子どもたちのために使命を果たしてきました。しかし、ことばの教室での指導の具体を知っている教員は、極めて少ないと思います。校長としても、赴任して実際の指導場面に直面し、ことばの教室の果たす使命の大きさを実感しています。

顔の見える関係を築いて思いを共有

以前本校のことばの教室に通級していたA男さんは、上手く話せない重圧から、学級ではあまりお話をしませんでした。でも、通級を始めてから、学級での表情が明るくなり、休み時間に友達と楽しそうに談笑する姿も見られるようになりました。やがては、授業中にみんなの前で答えを言えるまでになりました。これは、私が本校に赴任する前の学校での嬉しい事例です。言語の障害を改善する以上に、その子の自己肯定感・有用感を高め、次なる一步を後押ししてくれたことを実感しました。

当時のA男さんの担任は、ことばの教室で実施した指導公開を参観し、担当教員、保護者と3者で思いを共有し、互いに顔の見える関係になれたことがとても良かったと語っていました。担任は、普段学級では見せないA男さんのことばの教室での良い表れを、保護者や担当教員から日常的に伝えられたことで、学級でもA男さんに自信を持たせるプラスの関わりができました。A男さんの学級でのプラス面も、保護者や担当教員に伝わるようになり、様々な場での「ほめほめシャワー」によって、A男さんには大きく成長しました。

専門性に裏付けされた担当教員の魔法の関わり

A男さんに発してほしい言葉を上手く引き出す担当教員の関わりは、「まるで魔法のようで、ことばの教室の先生はすごい」と、担任が言っていました。でも、その担当教員は、ことばの教室は初めてだったことを知り、担任は大変驚いていました。担当教員は、毎時間異なる子どもに適切な指導をするための研究や準備、子どもの表情や行動の変化に臨機応変に対処しながら目標に向けてスキルアップを図る上手さ、それぞれの保護者と良好なコミュニケーションを図ること、所属学級担任等との情報共有や運営面の調整、各種事務など、通常の教員からは予想もつかない専門知識や幅広い技量が求められます。初めての担当教員は、先輩教員の専門知識の指導を受けつつも、様々な経験知も伝授してもらっていたはずですが、また、静言研等が実施する研修会などで必死になって学んでいたはずですが。

専門性維持の課題

たまたま本校は、複数の担当教員が在籍することばの教室ですから、専門性を伝授・維持するOJTが機能します。しかし、複数教員が配置されていないことばの教室では、OJTが機能しないばかりか研修会にすら参加しにくい環境にあります。

学校も行政も、ことばの教室担当教員の専門性の維持・向上は責務であり、校長は、担当教員が専門性をより高めるために、積極的に各種研修に派遣すべきです。人事異動については、在校年数で画一的に異動させないよう、校長は行政側に配慮を強く求めていくことが大切だと思います。

1. 教室紹介



沼津ことばの教室は、昭和45年4月に開設され、今年で47年目になります。現在は教員2名・臨時講師1名で指導に当たり、市内24校の児童を通級の対象としています。今年度は1年生～6年生までの構音、吃音、言語発達遅滞、場面緘黙の子どもたち37名でスタートしました。1月現在では46名の指導をしています。

玄関掲示

5月 こどもの日



7月 七夕



10月 ハロウィン



12月 クリスマス



1月 絵馬



ことばの教室の玄関をいってすぐにある掲示は月ごとに替わり、季節の移り変わりや行事に関心を持てるように工夫しています。また、子どもたちが掲示用の工作をすることで、指先の運動になっています。自分の作品が掲示されているため、子どもたちは嬉しそうに眺めたり、保護者に自慢したり、他の子の作品と見比べたりしています。

施設

待合室



児童書や、保護者向けの本がたくさん置いてあり、貸し出しもしています。保護者同士・子ども同士の交流の場にもなっています。

観察室



指導室1・2はモニターで、プレイルームはマジックミラー越しに観察できるようになっています。



指導室1・2



水道・エアコンがついており、静かな環境で快適に学習することができます。

プレイルーム



様々な教具があり、体を思いっきり動かすことができます。

2. 活動・行事

個別の指導だけでなく、子ども同士・親子・親同士の交流を目的とした様々なイベントも行っています。

* グループ学習 *

学期に1回開催し、遊びを通して交流の楽しさや人との関わり方を学びます。思いがけない成長や、大集団・個別の指導では見られない姿が見られることもあり、新鮮です。子どもたちも毎回とても楽しみにしています。



トランプ。ルールを守り、みんなで楽しく遊びます。

巨大ジェンガ。どのジェンガを取るか、チームで相談しました。



風船運び競争。ペアの動きをよく見て、息を合わせます。

* 親子ふれあい会 *

親と子どもが会話をしながらおやつを作り、楽しい一時を過ごす企画として、クリスマスケーキ作りをしています。毎年とても好評で、どの家族も楽しそうに思い思いのケーキを作ることができました。



すてきなケーキができました！

* 茶話会 *

年に3回、通級児の保護者を対象に茶話会を開催しています。前半は子どもとの関わり方や勉強方法などについての学習会をします。後半は、日頃の悩みを話し合ったり、親同士でアドバイスし合ったりし、情報共有の場となっています。

今年度の茶話会のテーマは、

- ①「新年度を迎えて」「ペアレントトレーニング」
- ②「『学び方講座』伝達講習会」
- ③「1年間を振り返って」(予定)

でした。



和気あいあいとした雰囲気の中、ざっくばらんに話し合います。

3. 教材

子どもが楽しんで活動できるよう、粗大運動・微細運動・口腔機能改善・構音練習・ワーキングメモリーの向上などの目的に応じて様々な教材を使っています。

おはなしすごろく



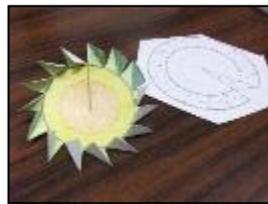
止まったマスに書いてあるテーマに沿ってお話をします。

でこぼこ道→坂道→下り道→カーテン→トンネル→分かれ道→ぐるぐる道のコースです。ゴール目指して球を吹きます。

吹く迷路



紙製コマ



好きな色を塗ってつくります。息を吹きかけると勢いよく回り、楽しいです。

構音すごろく



学習シート



活動内容の見通しを持ったり、目標を立てたり、ふり返りをしたり。子どもの実態に応じて様々な使い方をしています。



吹く玉入れ

ハンバーガータワーゲーム



ハンバーガーの具を慎重に積み上げていきます。子どもたちに大人気です。

飛び石、一本橋、トンネル、ケンケンパなど、多彩な運動ができます。



サーキット



ジャンピングボード
なわとび



トランポリン



卓球